

プール学院報

Poole
Gakuin
150th
FOUNDED 1879
愛と奉仕

第92号

2021年7月
発行

学校法人 プール学院

〒544-0033

大阪市生野区勝山北1-19-31

TEL.06-6741-7005

FAX.06-6731-2431



短期大学閉学式 2021年3月16日



短期大学卒業式 2021年3月16日

CONTENTS

理事長挨拶 1

【特集：就退任挨拶】 2・3

【学院】

ミッションステートメント 4・5

コミュニケーションマーク 5

【中学校・高等学校】

校長挨拶 6

同窓生子女対象

入試説明会 6

入試結果 7

教頭・部長挨拶 8

生徒メッセージ 9

卒業生紹介 9

【短期大学】 10

同窓会だより 11

法人だより 12

編集後記 12

ご挨拶

大いなる存在に見守られて

(ハイヤーパワー)

詩編8編より

理事長 アンデレ磯 晴久 (日本聖公会大阪教区主教)



もう30年以上も前の経験です。今は戦火が激化しないように祈るばかりですが、イスラエルの首都エルサレム(イスラエルは首都と宣言。国連は認めておらずテルアビブを首都としている)にあるセント・ジョージカレッジの3か月コース(聖書の大地と考古学)に参加する機会が与えられました。当時は和解と共生の願いが高まっていたのですが、今は戦争状態にならないかが本当に心配です。

そのコースの中で、脱水症状にならないように大きめの水筒を持って、荒れ野を2・3時間一人になって歩き、黙想するというプログラムがありました。まず歩きながら感じたことは、季節は乾季で荒涼とした土と砂の世界、果てしなく続く地平線(360度)、朝は涼しいのですが、日中は40度近くになる気候、日陰は全くなく、広い広い空の下、何も守ってくれるものがなく、自分がとても弱く小さな存在だということでした。しばらく歩きますと、どこから来たのでしょうか、ベドウィン(遊牧民)のこどもたち数人が現れました。そのかわいいこと。こういう時のために、大阪のおばちゃんに倣って、飴を用意していたので、みんなに渡すとうれしそうに、しばらく一緒に歩いてくれました。そしてどこかへ帰って行きました。

またしばらく歩くと、地平線の向こうの雲間から太陽の光が地を照らしているのが見えました。その光線のなんと荘厳で神秘的だったことか。今も目を閉じると浮かんできます。そして、黙想の中で読んだ詩編が8編でした。5節に「そのあなたが御心に留めてくださるとは、人間は何ものなのでしょう。人の子は何ものなのでしょう、あなたが顧みてくださるとは。」とありました。私は弱く小さい存在のままなのですが、そのことが嫌なことではなく、うれしくなってきたのです。こどもたちを通し、広い空と太陽の荘厳で、神秘的な光を通して、目には見えないのですが、天上から大いなる存在(ハイヤーパワー)に見守られていること、あるいは大いなる存在と一緒に歩んでくれていると感じ、弱く小さな存在であることが、怖くなくうれしくなってきたのです。

新型コロナウイルス禍の下、変異株も心配です。つづく人間って弱く小さな存在だなと感じます。しかし大いなる存在(神様)が、私たちを見守り、共に歩んでくださっていることを思い、忍耐と希望を持って、しっかり感染予防の対応をしながら歩んで行きたいと考えています。「いのちを守り合う」ことを合言葉に歩みましょう。



就任礼拝 2021年4月1日

理事長就任のご挨拶

主の聖名を賛美致します。吉田幸一理事長の退任に伴い、今年4月1日付けで理事長に就任致しました磯晴久です。プール学院の始まりは、1879年川口居留地（現在西区川口）にミス・オクスラドが始めた永生女学校と言われています。今年で142年目です。私が、幾多の困難を乗り越えた歴史と伝統ある学校の理事長に選ばれるとは、主教になった時もそうですが、「神様、私でよろしいのですか。」というのが正直な気持ちです。しかし、学院長就任の時も申し上げましたが、私自身中学校から大学まで、10年間一貫教育のキリスト教主義学校で育てて頂きました。その恩返しのため、この光栄あるお仕事に取り組んで参る所存であります。

主教 アンデレ 磯 晴久（日本聖公会大阪教区）

御周知のように、プール学院を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。私の願いは、諸先輩方がそうであるように、生徒たちがプール学院で学んで良かった、また教職員の皆様がプール学院で働いて良かったと思って下さることです。今私はプール学院の応援団になれたらいいと考えております。そのためには、教職員の皆様、同窓会の皆様、理事や評議員の皆様はじめ関係の皆様のお祈りと支え、力が必要です。教会の皆様のお祈りも必要です。

スクールモットーである「愛と奉仕」の精神の上に、理事長の務めを果たして参りますので、ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

校長・常務理事就任のご挨拶

今年4月より吉田幸一校長の退任に伴い、プール学院中学校高等学校の校長に就任いたしました安福朗と申します。

私は神戸にあります松蔭中学校高等学校で25年間教員として働かせて頂いた後、啓明学院中学校高等学校の副校長・校長を17年間勤めてまいりました。

この度、縁あって伝統あるプール学院中学校高等学校の校長に就任させて頂くことになりましたが、これも神様が私にお与えくださった使命だと思い、プール学院の母体である聖公会共同体（アングリカンコミュニオン）の一信徒として学院の発展のため全力を尽くしたいと決意しております。小さな器ではありますが、どうかお支え頂きますようお願い申し上げます。

安福 朗

プール学院はこの3月に短期大学を閉学し、本年度より中学校及び高等学校のみを有する学校法人として再生を図ることになりました。中等教育に責任を持つ学校教育機関としての歩みを新たに始めるにあたり、今一度プール学院が存在することの意味を確認するため、従来のミッションステートメントを再構築し、別掲のように策定させて頂きました。

中学校高等学校における教育のさらなる充実を図り、「キリスト教精神を根底とする人格教育」をもって「愛と奉仕」の担い手であるサーバントリーダーを育てることに専念し、「神の栄光」のために託されたミッション（使命）を果たすべく教職員一同と共に励んで行きたいと思っております。

アシスタントチャプレン就任のご挨拶

このたびアシスタントチャプレンに就任いたしました日本聖公会大阪教区司祭の金山将司と申します。普段は羽曳野市にあります恵我之荘聖マタイ教会という教会で牧師をしておりまして、この4月から週に2日、チャプレンの成岡宏晃司祭のお手伝いのために就任することになりました。

人生で初めてのチャプレンというお勤めをいただき、新しいことに挑戦していく喜びと期待がある一方、学校という全く未知の環境に戸惑いもあり、まだまだたくさんの学びと経験が必要であると感じる日々を過ごしております。慣れぬ場所、慣れぬ

金山 将司

勤めではございますが、中学校・高等学校のチャプレンという青年たちへ携わる大切な役割へ、キリスト者として責任と使命感をもちつつ、挑んで参りたいと思っております。

チャプレン一年生、何も知らぬ初心者です。不慣れな点、学ぶべきことなど多々ありますが、キリストの愛を伝えるものとして日々成長しながら、神様の恵みと皆様のお祈りに支えられ、この大切な勤めに励んで参りたいと思っております。今後も精進して参りますので何卒皆様にお祈り、お支えをいただければ幸いです。

退任のご挨拶

「一粒の麦」

前理事長・校長 吉田 幸一



私のミッションは何かといえば、その語源となったラテン語のmittereの送るあるいは遣わすの意から“遠方の地において果たすべき役割を担う”という“使命”だったといえます。ミッションの語源のとおり、私は、横浜から大阪に赴き、杉山修一前理事長・院長と内海前校長からプール学院を引き継ぐことになりました。キリスト教精神に基づく学校として、教育と経営の両軸のバランスをとりながら持続可能な健全経営を実現する学校としての使命を担うことになり、プール学院で仕事をさせていただいたことのみ恵に感謝しました。

プール学院の141年の歴史と伝統を顧みながら、創立150年に向けたミッション・ステートメントPoole Gakuin Action 150 (略称 PGA 150)を作成し、学院の舵取りをしてまいりました。

- 1.キリスト教精神に基づいた愛と奉仕の担い手である
サーバント・リーダー(Servant Leader)の育成
- 2.安定的かつ持続可能な学校経営の実現
- 3.世界と地域に貢献するグローバルな教育の実践
- 4.学生・生徒の教育満足度を高め、社会に貢献する人材の育成
- 5.良き教育者を育成するための教育環境の充実

今後も教育と経営の両輪のバランスをとることで、プール学院の中長期の道筋をさらに組織的、計画的なものとして進めてもらえるよう期待を寄せたいと思います。私自身に与えられたミッションである学院の経営基盤の安定化に向けた魅力ある教育プログラムの実践、中学校と高等学校の生徒増加に一定の成果が残せたこと及び生徒との昼食会を通して要望のあったリュックの着用(学校指定や茶道同好会の発足が実現できたことは大変有意義であったと思っています。さらに、短期大学の歴史に一定の区切りとなる年に奉職できたことも神様のお導きかと考えています。少子化、人口減少など様々な社会変化が予測される中、伝統あるキリスト教主義の学校としてこれからも良き教育の場としてのプール学院の発展を祈念し、退任のご挨拶といたします。

「散りぬべき時知りてこそ世の中の花も花なれ人も人なれ」

細川ガラシャ

「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる」

マタイによる福音書7章7節

「退任にあたって」

短期大学 第12代学長 作野 理恵



大阪の地に燦然と輝きを放っていたプール学院短期大学が、誠に残念ながら昨年度3月31日をもって閉学いたしました。

1950年来、キリスト教主義における女子教育の伝統と歴史を築いて下さった全教職員方、並びに母校を愛する卒業生の皆様方には、遣り場の無い無念さや愛惜の思いの中、計り知れない悲しみを味わっておられることとお察しいたします。

短期大学の存続を切望しながら、役目柄、その意向と反する閉学への諸手続きを推進しなければならなかった3年余は、私にとりまして辛く苦しい日々でございました。

プール学院短期大学の教育理念と実績に感銘を覚え、その継承と発展を心から願う教職員方と共に存続の可能性を探り続けましたが、それを実現させることができず、ついに終焉の日を迎えてしまいました。皆様方には学長としての無力さをお詫びするしかございません。本当に申し訳ございませんでした。

短期大学存廃問題の協議では「不易流行」と言う言葉がよく使われました。「変化しない本質的なものを忘れず、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと」の大切さが説かれ、「流行」の中に「短期大学廃止」が入りました。

けれども経済格差が一層進み、2年間の高等教育機関が依然、求められている社会状況の中、「流行」として例え学科内容や編成等に大幅な変化を採り入れたとしても、愛と祈りを礎とし、個人の人格が尊重されるプール学院短期大学と言う高等教育機関は、プール学院全体の為にも「不易」として守り抜かれるべきであったと、今も尚、固く信じて止みません。

神がそのご栄光を顕す為に建てられた貴い器を壊してしまった事が、御心に適った事であったのかと言う畏れも覚えております。

今後は、プール学院短期大学で学問に取り組んだ卒業生方、そして学生と共に研究・運営に勤しんだ教職員方に蒔かれたプール学院短期大学の精神と所産が、夫々の活動場所で花開いていくことでしょう。そして此の先も皆様方を通して、「プール学院短期大学」が社会の中でその役割を担い果たしていくことと確信をしています。

最後になりましたが、3年間、この拙い者を惜しみ無く導き大きくお支え下さいましたプール学院短期大学の教職員、後援会、往時の在学生、卒業生、そして学院関係者の皆様方に深い御礼と感謝を申し上げます。本当にどうも有難うございました。

皆様方の上に神様のみ恵みが今後も豊かに有りますようにと心よりお祈り申し上げます。

プール学院ミッションステートメント

プール学院は2029年6月に創立150周年という記念すべき年を迎える。ここ数年、学院の存続をかけて、プール学院大学の学校法人桃山学院への設置者変更、プール学院短期大学の閉学を断腸の思いで決断し、2021年4月より中学校及び高等学校のみを有する学校法人として学院の再生を図ることとなった。前期・後期の中等教育に責任を持つ学校教育機関として

新たな歩みを刻むにあたって、幾多の困難を乗り越え、長い歴史を貫いて守られてきた理念を思い起こし、プール学院が存在することの意味を改めて確認し、「21世紀に輝くプール学院」として何を目指し、世界そして地域社会に中等教育を通じて、どのように貢献していくかが問われている。決意をもって以下の宣言を行い、プール学院の使命を明確にする。

建学の精神

プール学院は近代日本の黎明期である1879年、英国国教会に所属する宣教団体によって、キリスト教を基軸とする宗教的情操と高い文化的教養を身に付けさせるために創立され今日に至っている。

英国の宣教師メアリー・ジェーン・オクスラドは、わずか14名の生徒で学校をはじめた。この小さな学校を支えたのが主教アーサー・ウィリアム・プールであり、財政的に苦しかった学校のために、病身をおして英国や日本で資金を集め、川口居留地に校舎を建築する道を開くも、1年で英国へ帰り、33歳の若さで天に召された。しかし、彼の教育への愛情と情熱は、プール主教夫人に受け継がれて支援活動は継続され、今日の学院の礎が築かれたのである。我が校名は、このプール主教夫妻の愛と貢献への感謝の証であり、学院のスクールモットーである「愛と奉仕」の精神は、プール主教夫妻から受け継がれてきたものに他ならない。

プール学院の建学の精神は寄附行為前文に明らかである。そこには次のように記されている。「**終始一貫日本聖公会所属の教育施設として〈神の栄光のために〉キリスト教の精神を根底とする霊的人格教育を行ってきた。これは将来においても永久に守られるべきものである**」。この前文において、プール学院の教育研究の営みはすべて**〈神の栄光のために〉**行われることが明示されている。キリスト教の精神を根底とする霊的人格教育とは、神の前に一人立つ主体の形成を以って、人類社会に貢献することを目指す教育のことである。建学の精神が示す価値観は、現実社会の支配的論理、風潮に与することなく、イエス・キリストの生涯に示されている**「愛と奉仕」**を模範として生き、「**真理はあなたたちを自由にする**」という聖書の言葉を根拠にして学ぶことを要請する。プール学院の教育理念が、ここに基盤を置いていることをまず確認しなければならない。

このことは時として、合理化が最優先とされる現実社会の経営的視点から見れば、非現実的で不合理に見えることがあるこ

とも否定できない。学校経営が昨今の新国家主義的教育改革や新自由主義経済に基づく競争環境の中で、大きく変化することを求められている状況下にあってはなおさらである。加えて本学院のような霊的人格教育を標榜する教育は、数値化される学校評価の対象とはなりにくい面があることも事実であり、宗教的教養教育を目指す理念そのものが、現実社会に受容されにくいこともある。

しかし140年を超える、プール学院の歴史を紐解けば、いかなる困難な状況下の学校経営にあっても**「愛と奉仕」**をスクールモットーとする**「キリスト教の精神を根底とする霊的人格教育」**への熱意と実践こそが、あらゆる窮状を乗り越え、今日を迎えていることも確かなことである。今後いかなる時代、いかなる環境の中にあっても、この建学の精神を変えることなく発展させていくことこそがプール学院に託されたミッションである。

プール学院の母体である聖公会共同体(アングリカンコミュニオン)は、「多文化共生」「多様性の一致」(Unity of Diversity)を掲げ、これらの実現を目指して歩んでいる。神はご自身が創造された全てのものをご覧になり、「良いものができた」と大いに喜ばれたと聖書にあるように、「個性」や「違い」は、神の創造の業の素晴らしさを示すものである。生きとし生けるもの、それぞれが持つ「個性」や「違い」を尊重し、神の前に一つとなって「共に生きる」理念を課題としてプール学院も歩まねばならない。

プール学院は、中等教育に責任を持つ学校法人として新たな歩みを始めるにあたり、多様性の尊重と性差を超えた**「共に生きる」**理念が求められる時代に応え、中学校・高等学校における教育のさらなる拡充を図り、「キリスト教の精神を根底とする霊的人格教育」をもって、「愛と奉仕」の担い手であるサーバントリーダーを育てることに専心し、「神の栄光」のために人類と世界に貢献するために、託されたミッション(使命)を遂行することを誓う。

スクールモットー

「愛と奉仕」

caritas et ministerium
(カリタス・エト・ミニステリウム)

caritas(カリタス)はアガペーのラテン語訳で、英語のcharity(チャリティー、慈善)の語源となっている。しかし意味はもっと広くて深く、コリントの信徒への手紙一の13章の有名な「信仰と希望と愛」では、fides spes caritas となっており、ここでは「神から人への愛」「人から神への愛」そして「人間同士の愛」のいずれもが表現される。

ministerium(ミニステリウム)は、「(下僕、従者として)仕えること、奉仕」であるが、「仕える」は「務め、任務」という意味も持つ。マルコによる福音書10章の「しかし、あなたの方の間ではそうではない。あなたの方の中で偉くなりたい者は、皆に仕えるものとなり、一番上になりたいものは、すべての人の僕になりなさい」という有名な言葉があるが、この「仕える者」こそminister(ministeriumする人)であることを忘れてはならない。

めざす人間像

建学の精神に基づき、「愛と奉仕」のスクールモットーを体現する目指すべき人間像を次のように定める。

他者の痛みを思い遣れる美しい人間性と、その痛みを解決する逞しい知力をあわせもった人間として

1. グローバルな視野に立ち、
愛と教養を持って社会に貢献できる人間
2. 精神的なもの、目に見えないものに
価値を置き他者に奉仕できる人間
3. 困難や逆境に負けない忍耐力を持った
問題解決のできる人間

スクールミニマム

2006年に定められたスクールミニマムに示されたプール学院の良き伝統を、守るのではなく継承するために、挑戦し続けるものとして再確認し、全校生徒が最低限身につけるべき3つのこととして、教職員は徹底して指導する責任を負うとともに、教職員自らも守ることを誓う。

1. 挨拶すること
2. 読書すること
3. 合唱すること

2021年4月19日 理事会承認

150周年コミュニケーションマーク制定

【デザインコンセプト】

ステンドグラスをモチーフとしたタイポグラフィにより、キリスト教教育に基づいた150年の伝統を表現。円形の窓からは「輝く個性」のイエロー、「深い学び」のブルー、それを支える「愛と奉仕の精神」のピンクの3色の光が差し込みます。一人ひとりの個性を尊重し、さまざまな場所で輝く人材を輩出するプール学院の、新しいステップを伝えるコミュニケーションマークとなっています。



すべての生徒に 「居場所と出番」を

校長 安福 朗



先日、大阪市の公立中学校で英語の教員をしている28歳の卒業生が、学院を訪ねてまいりました。彼女に「プール学院は貴女にとってどのような学校でしたか。」と尋ねると、即座に「夢を見つけることができた学校でした。」と応えて、プール学院での学びの中で「将来は英語の教師になりたい。」という夢を見つけることができたときと生き生きと話してくれました。

学校は「夢を実現する力を養う場」だと言われます。志望大学への進学をはじめとする生徒たちの将来の夢を実現する力を養うことは、学校の責務といえるでしょう。しかし私は、学校は「夢を実現する力を養う場」である前に、「夢を見る力を養う場」でありたいと思っています。英語が得意か、得意でないか。数学が好きか、好きでないか。それによって見ることのできる夢が違います。たくさんの本を読むか、あまり読まないか。クラブ活動や学校行事にひたむきに取り組むか、そうでないか。それによっても見えてくる夢は違うのではないかと。そう思うのです。

プール学院は、入学して頂いた全ての生徒の皆さんに「夢を見る力」を養う学校でありたいと思っています。そのためには、プール学院で学ぶ生徒たちそれぞれに「居場所」と「出番」が用意されていなければなりません。「安心できる居場所があって、

自分の出番も必ずある」。それが実感できた時、生徒たちの心にやりがい生まれ、勉強にもクラブにも前向きに取り組めると思うのです。生徒一人ひとりに「プール学院には私の居場所と出番がある」と思ってもらえるよう、各コースの特色ある学びを充実させるとともに、コースを超えた「プール学院らしい、プール学院ならではの」学びの展開に取り組んでいきたいと考えております。

「他者の痛みを思いやれる美しい人間性と、その痛みを解決することができるたくましい知力を合わせ持つ人間を育てたい」。

これこそが、「愛と奉仕」のスクールモットーのもと、長きにわたって積み重ねてきたプール学院の教育に他なりません。

新型コロナウイルス感染症は、今まで当たり前とっていた「学び」を奪うだけでなく、新たな「学び」の在り方を私達に突き付けています。もちろん、時代と共に変わっていくことは必要です。

けれども、このような時代だからこそ、プール学院は「今までの学び」を大切にしたいと思うのです。3つのスクールミニマム「挨拶すること」「読書すること」「合唱すること」に体现されるプール学院の教育を、あらためて世に問う2021年度としたいと思っております。

「同窓生子女対象入試説明会」開催のお知らせ

イベント	同窓生子女対象入試説明会
開催日時	8月21日(土) 14:00~
場 所	本校
対 象	同窓生(プール学院中学・高校・短大・大学)の子女、孫、在校生姉妹、その保護者
内 容	中学校・高等学校の学校概要や入試説明、 入学金等に関する優遇・特典など
参加申込	[お電話] 06-6741-7005 またはQRコードから →



申し込みフォーム

2020年度高Ⅲ生の進路状況

進路指導部長 前田 英樹

2021年度大学入学共通テストの志願者数は、前年度より22,454人少ない、535,245人であった。新型コロナウイルス感染症に伴う学業の遅れなどへの対応から、本試験が2回実施されたが、第2日程(1月30・31日)の出願者は718名にとどまった。

受験者数は484,114人(前年度比で91.8%)と志願者数よりも減少率が高くなり、特に3科目以下の受験者で前年度比85.3%と減少率が高くなった。共通テストには出願したものの、コロナ禍での実施となり、受験を取りやめた者が例年以上に多かったようである。

共通テストは昨年までのセンター試験より思考力を問う問題

が出題されるということもあり、平均点は下がるとみられていたが、実際は昨年のセンター試験とほぼ同程度であった。

本校では、卒業生198名のうち、4年制大学へ164名(82.8%)、短期大学へ11名(5.6%)各種専門学校へ10名(5.1%)が進学した。昨年と比較して割合はほとんど変わらない。今年度は国公立大学で学校推薦型選抜(公募推薦)から受験日程を取り組む生徒が多く、5名の生徒が推薦で合格した。また、最後まであきらめずに粘った生徒は比較的合格を勝ち取っていたようである。今年度も最後まで粘り強く学習する生徒が増えることを望む。

2021年度入試 合格実績 卒業生数：198名

人数は現役・既卒生の合計を示す

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
国公立大学計	14	追手門学院大学	9	相愛大学	1	大阪芸術大学短期大学部	1
大阪市立大学	1	桃山学院大学	9	大阪音楽大学	1	専門・各種学校計	12
大阪府立大学	1	桃山学院教育大学	7	大阪学院大学	1	関西看護専門学校	1
大阪教育大学	2	関西外国語大学	8	大阪工業大学	1	新大阪歯科衛生士専門学校	2
奈良教育大学	1	畿央大学	9	大阪人間科学大学	1	大阪歯科衛生学院専門学校	1
奈良県立大学	1	帝塚山大学	14	藍野大学	1	日本歯科学院専門学校	1
兵庫県立大学	2	帝塚山学院大学	8	佛教大学	1	修成建築専門学校	1
和歌山県立医科大学	1	千里金蘭大学	6	宝塚大学	1	大阪ハイテクノロジー専門学校	1
和歌山大学	1	大阪医科薬科大学	2	4年制私立大学(近畿圏外)計	22	大阪工業技術専門学校	1
九州歯科大学	1	甲南女子大学	13	立教大学	5	大阪総合芸術学院専門学校	1
高知県立大学	1	大阪樟蔭女子大学	11	明治学院大学	3	HAL昼間部4年制	1
埼玉県立大学	1	梅花女子大学	3	早稲田大学	1	東京アカデミー難波校	1
石川県立大学	1	神戸女子大学	2	国際基督教大学	1	バンタンデザイン研究所	1
文科省所管大学校	1	神戸松蔭女子大学	1	中央大学	1	海外計	2
防衛大学校	1	京都ノートルダム女子大学	1	東京女子大学	1	就職	0
4年制私立大学(近畿圏)計	322	京都橘大学	9	東京薬科大学	1		
関西大学	6	大和大学	5	日本大学	1		
関西学院大学	16	京都文教大学	4	創価大学	1		
同志社大学	6	大阪電気通信大学	4	国立音楽大学	1		
立命館大学	2	大阪経済大学	3	聖心女子大学	1		
京都産業大学	4	大阪芸術大学	3	洗足学園音楽大学	1		
近畿大学	23	大阪大谷大学	3	立命館アジア太平洋大学	2		
甲南大学	7	羽衣国際大学	2	吉備国際大学	1		
龍谷大学	14	京都外国語大学	2	鈴鹿医療科学大学	1		
同志社女子大学	18	四條畷学園大学	2	短期大学計	17		
神戸学院大学	11	森ノ宮医療大学	2	武庫川女子大学短期大学部	10		
京都女子大学	12	関西国際大学	1	関西外大学短期大学部	3		
武庫川女子大学	10	京都美術工芸大学	1	常磐会短期大学	1		
摂南大学	12	阪南大学	1	嵯峨美術短期大学	1		
神戸学院大学	27	神戸常盤大学	1	大阪キリスト教短期大学	1		

教頭・部長挨拶

変化の激しい時代を 生き抜く資質・能力の育成

中学教頭 澤村 厚司



昨年度よりコロナ禍の中で学校行事が思うように実施できない中、できることを手探りでやっている状態が続いています。今年度の教育活動も感染症対策、特に「新しい生活様式」に沿って①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いに留意して進めてまいります。

さて、学習指導要領が改訂され「主体的・対話的で深い学び」がクローズアップされています。「主体的な学び」とはどのようなことでしょうか。我々の社会はとんでもないスピードで変化し、明日、明後日の予想も難しい状態になっています。この中で生き抜くためには新しい変化に自ら対応する力「対応力」が必要になってきます。この対応力をつけるためには新しい知識や情報を得ることが重要になってきます。この新しい知識や情報は「自分で勉強する」以外に増えることはありません。教えてもらったことや自分で調べたことを納得するまで考え、自分の中に落とし込むことが「主体的な学び」だと考えます。「対応力」を伸ばすために、まず基礎的な力を中学生的な中で身に付け、自ら学ぶ力をつけてほしいと思います。

学校での授業もICTの活用など、これから変化していきます。私たち教員も協力しながら学びの環境を整えていきます。生徒の皆さんも、今、自分にできることを実際に行動に移してみてください。何も考えないこと、考えても行動しないこと、少しずつでも行動をすることの間にはいつしか大きな違いが表れるでしょう。できることをひとつひとつ積み重ねて、一緒にこの難局を乗り越えましょう。

才能を芽吹かせ、育てる場。 それがプール学院!

高校教頭 巽 浩士



学校は才能(タレント)を探す場…才能、それは誰にでも与えられています。(マタイによる福音書25. 14-30) 皆さんにはどんな才能が与えられているでしょうか?色んな人から賞賛されるような輝かしい才能かもしれませんし、人目につかない所で地道に作業する才能かもしれません。未だ経験したことのない事に世界一の才能があるかもしれません。プール学院では様々な学びの場を提供しています。その中で、自分の才能に気づき、活かすことができるようになることを期待しています。

学校は試練の場…「好きなことなら何でもできる…」昔、あるコンピュータ専門学校のCMで流されていたセリフです。これを聞いて私は、「それって当たり前やろ!」と思わず突っ込みを入れてしまいました。世の中で必要とされるのは、どんな力でしょうか?好きなことだけできる力ではないはずです。好きなことをやりつつ、嫌なことにも取り組むことができる力ではないでしょうか。プール学院ではその「嫌なことにも取り組むことができる力」を身に付けることができるように、たくさんの厳しい試練を用意しています。その試練を乗り越えて必要な力を身に付けていきましょう。「そんなの無理?!」いえいえ、聖書にはこう書かれています。「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えてくださいます。」(コリントの信徒への手紙一10. 13)

これら2つの場を整え提供するの、高校教頭の使命であると考えています。全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

時代の要請に応える プール学院の学び

教務部長 原 一公



本年度から教務部長に就任いたしました原です。

インターネットの普及により、世界中の情報が簡単に見られるようになりましたが、グローバルな視点なくして解が出せない世の中へと変わりました。さらに、新型コロナウイルスは、生活様式や学習様式を一変させました。この2点だけを見ても、今の子ども達には、激しく変化する予測不能の世界を、新しいデバイスを活用しながら、強く生き抜く力が不可欠となっています。

我々教師はその礎を作るべく、磐石の布陣を敷くことが喫緊の課題であり、それをマネジメントしていくことが私に与えられた大きな使命の一つであると認識しています。プール学院の140年を超える長い歴史を重く受け止めながらも、ICTを活用した新しい教育の形へと移行しつつ、生徒達が自ら学びを深める力を養えるよう、迅速な学校改革に務めてまいります。

ところで、昨年コロナ禍に担任をしたクラスの生徒達がよく口に「こんな時に、皆で企画した楽しい事を沢山させてくれてありがとう」という感謝の言葉とその時の表情が、ずっと忘れられません。同じ学び舎で笑い合い、議論して高め合い、夢を語りあう友となつて、やがて巣立っていく。そんな昔ながらの学校にあるべき姿を、不器用に真面目に守り続けているところが、プール学院の「らしさ」であり、私が本校に感じる大きな魅力でもあります。

未来に通用する人間を育成する学校でありながら、一つ一つの素朴な経験を通して生徒の優しさや強さを育てていくような、どこかしら懐かしい学校。そんな古き良き新しきプール学院になるよう努力してまいります。

生徒メッセージ

情報処理学会第83回全国大会 中高生研究賞を受賞して

高校Ⅲ年E組 米澤 李音



私は小学校6年生からプログラミング教室に通っています。最初はプログラミングでゲームを作るのが楽しかったのですが、いろいろなプログラミング言語を学ぶにつれ、プログラミングを利用して身近な問題を解決する面白さを感じるようになりました。今回、私はTwitterの投稿内容からストレス状態を分析、ネガティブな感情を抱え込まないためのアプリを開発し、

情報処理学会全国大会中高生研究賞を受賞することができました。

何故この研究を始めたかという
と、今、私達はコロナ禍で様々な
ストレスにさらされており、心の不調
に陥りやすい状態にあります。多く
の人が身近なものとして利用して
いるTwitterを活用し、人の助け

になるものを作りたいと思ったからです。今回の研究で苦労したことは、プログラミングのコードを書いている時に、何度もエラーが出ることです。解決策が思いつかない時は、インターネットで検索し、ヒントになりそうなものをお手本にしてコードを修正するのですが、お手本となるものが全て英語で書かれていたこともあり、理解して修正するのが大変でした。

今回、開発したアプリはセルフケアの基本を定型的に提供するものです。将来は、ユーザーがストレスを軽減できるよう、AIとの会話を通して心のカウンセリングを行うことができるスマホアプリを開発したいです。そのためにパーソナライズした会話ができ、会話の学習により適切なストレスケアができるよう進化していく、そのようなAIの研究をしていきたいです。



シリーズ
第32回

活躍する
卒業生

株式会社テレビ東京 アナウンサー
竹崎 由佳さん (第120回卒業生)



現在の私を作り出した源は 「学生時代のクラブ活動」

2017年に(株)テレビ東京に入社し、現在はアナウンサーとして卓球・柔道・ゴルフなどのスポーツ中継や、バラエティ番組を担当しています。また、今夏に開催される東京五輪に向けて準備を進めています(21年5月)プール学院中学・高校在学時は、吹奏楽部に所属し、オーボエを担当していました。コンクールに向けて各メンバーが楽器の音色・技を磨き、一つの作品を作り上げるという過程が何よりも楽しく、夢中になって取り組んでいました。



この原稿を書くにあたって学生時代を振り返る中で、「吹奏楽」と「番組制作」には、通ずるものがあることに気が付きました。演奏で使用する譜面は、放送における台本、指揮者は番組を制作するディレクター、奏者はコメンテーターやタレント、コンサートマスターは制作者と出演者をつなぐアナウン

サー、というように、役割がしっかりと当てはまります。自分のやるべきこと=周りとの約束事を全うし、作品の完成度をあげ、みている人の心を動かす。学生時代から一貫してチームでのものづくりが好きだったのだと、改めて感じました。楽しさ以外に、我慢強さも部活動から学びました。真夏の教室で汗だくになりながら練習に励んだこと、女子だけで重たい楽器を運び出したこと・・・しんどいことも多々ありましたが、壁にぶつかったときに底力を出せるようになったのはそうした経験のおかげだと、今となって思います。

社会人となり、7年。プールでの思い出を心の支えに、“活躍する卒業生”の名に恥じぬよう、努力を重ねていきます。最後に、いつも応援メッセージをくださる内海先生、今回お声がけいただいた来栖先生に心から感謝申し上げます。

短期大学の活動報告及び閉学について

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種の行事や活動が制限される状況にありましたが、短期大学では創立70周年記念感謝アセンブリーをリモート配信により開催しました。また、2021年3月16日には最終年度の学生70名が卒業し、同日の午後には閉学式を開催しました。

短期大学の閉学

2021年3月16日、2020年度卒業証書・学位記授与式がエレノアチャペルで挙行され、最終年度の学生70名が卒業しました。



卒業式 2021年3月16日

卒業式当日の午後からは、礼拝形式による短期大学閉学式を開催し、創立から70年間の歩みに感謝の祈りを捧げました。当初は、卒業生や旧教職員、自治体、地域の方々など幅広く案内する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、教職員を中心とした式典となりました。

最終年度の全学生が卒業し、節目の行事となる閉学式を終えて、短期大学は2021年3月31日をもって閉学しました。閉学後



閉学式 2021年3月16日

は、勝山キャンパスの法人本部にて、証明書発行等の事務取扱いを引継ぎます。また、70年間の資料等を保存・展示いたします。詳細は下記をご参照ください。

創立70周年記念感謝アセンブリー

2020年度のアセンブリーは短期大学の創立70周年記念行事として予定していましたが、事前に撮影した動画をリモート配信する形式に変更となりました。

第一部では礼拝の後に佐竹純子秘書科教授のメッセージがあり、第二部では卒業生3名と各学科の在学生代表のスピーチがありました。

主な行事報告

2020年9月16日 秋季卒業証書・学位記授与式

2020年11月4日 逝去者記念礼拝

2020年12月16日 クリスマス礼拝

2021年1月20日 短期大学創立70周年記念感謝アセンブリー～2月9日 (リモート配信)

2021年3月16日 卒業証書・学位記授与式
閉学式

短期大学の閉学に伴う重要なお知らせ

1. 短期大学に関する窓口変更

短期大学の閉学に伴い、2021年4月以降、窓口は以下のとおり、変更いたしました。

< 窓口 > 学校法人プール学院法人本部 大阪市生野区勝山北1-19-31

TEL: 06-6741-7005 受付時間: 月～金 10:00～16:00

(土日祝および学校休業日は取り扱っておりませんので、事前にご確認の上、ご来校ください)

2. 証明書発行

2021年4月以降、プール学院 法人本部にて発行いたします。詳細につきましては、短期大学ホームページをご参照ください。

3. 相談や問い合わせ等

卒業後の就職に関するご相談(2022年3月末まで)、その他短期大学に関するご相談やご質問等がございましたら、プール学院法人本部までお問合せください。

4. 短期大学記念室の開設

2021年秋頃に、短期大学に関する資料、出版物、記念品等を展示する「プール学院短期大学記念室」を大阪市生野区の法人本部及び中学校・高等学校の敷地内に設置予定です。施設概要や利用方法等につきましては次回以降の学院報でご報告いたします。

プール学院短期大学 後援会について

在学生の保護者・保証人で組織する後援会は、プール学院短期大学の閉学に伴い2021年3月31日をもちまして解散いたしました。後援会費の残額は2020年度後援会総会の承認を受け、プール学院オクスラド基金にプール学院短期大学記念室の設置・運営費をはじめ短大に資する費用としてご寄付いただきました。

これまで短期大学の教育・研究活動におきまして、後援会より多大なるご支援、ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。



母校への想い

一般社団法人POOLE理事長
鈴木 光子 (高73回・小柴)



一般社団法人POOLE(プール学院同窓会)はいつもプール学院と共にあります。

同窓会は生徒の皆さまからの終身会費と様々な寄付によって運営されております。同窓会の第一の目的はプール学院を後援・助成することと定款に謳っております。

毎年、学院に学習支援金をお渡ししておりますが、今年度も別記にありますように5月の同窓会理事会の席上、学院に贈呈いたしました。生徒の皆さまの笑顔のために用いてくだされば幸いです。

また、同窓会は学院の地下において、スクールショップ(売店)を運営しております。スタッフは全員学院の卒業生ですので生徒の皆さまが安心してご利用していただけるよう、「愛と奉仕」の精神で心をこめて対応させていただいております。

同窓会の様々な行事には学院の清心館・ラウンジ等を使わせていただき、「お帰りなさい」という言葉と共に母校に帰る機会を与えていただけることは大きな喜びであり感謝なのです。

聖書中の「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」のみことばを心に刻み、神さまに、そしてプール学院に繋がってきたいと思っております。

スクールショップからのお知らせ ～新人スタッフを迎えて～

同窓会がスクールショップを運営し始めてから今年で11年目となり、6月には新しいスタッフ4名を迎えました。

今年高校を卒業したばかりのフレッシュなスタッフからオープン当初より勤続のベテランスタッフまで、計8名が日替わりで勤務しています。先輩・母目線在校生を温かく見守りながら便利で明るいショップを運営しています。またスクールショップでは、新型コロナウイルス感染拡大の今、安心してご利用いただくために以下の対策を徹底しています。

【実施中の対策】

- ・机、備品などの除菌
- ・手指消毒の励行

- ・マスクの着用
- ・人と人との間隔をあける
- ・レジカウンターに飛沫防止カーテンを設置



コロナ対策(レジカウンター)



新人スタッフ

学習支援金贈呈

5月15日の同窓会理事会の席上、今年度の学習支援金100万円を贈呈いたしました。

生徒の活動のために用いていただければ幸いです。



母校短期大学の閉学

プール学院ミツパ会(短期大学・大学同窓会)
会長 五十嵐 よし子
(高84回・短英26期・佐藤)



2021年3月16日(火)短期大学最後の卒業生70名を送り出したその日の午後、エレノアホールにて磯晴久学院長・日本聖公会大阪教区主教の司式により、70年間におよぶプール学院短期大学の歴史に別れを告げる「閉学式礼拝」が挙行されました。

1950年の短期大学制度発足と同時に開学された母校プール学院短期大学は、静かに厳かに幕を閉じ、後奏の「いつくしみ深き」の調べが、諸々の想いと共に心に響きました。

ヤコブの井戸の足元には、いつもと変わらずクリスマスローズの花が密やかに咲き、プールの歴史に別れを告げているようでした。

※新型コロナウイルス感染防止のため聖歌は歌わず「アーメン」の唱和も心の中で行ないました。



クリスマスローズ



ヤコブの井戸

礼拝報告

新型コロナウイルス禍、感染予防対策を十分に行ったうえで記念礼拝が執り行われました。



学徒勤労働員殉難者記念礼拝 2021年6月7日(月)の様子

※室戸台風殉難者記念礼拝は2021年9月21日(火) 11:00～の予定
※事情により日時・場所等変更の可能性がございます。

2020年度決算について

当期決算の概要 (千円未満を切捨てているため、合計は一致しない場合がある。)

(1) 資金収支計算書

(単位 千円)

2020(令和2)年度 資金収支計算書 (2020.4.1~2021.3.31)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	523,911	人件費支出	1,245,169
手数料収入	8,656	教育研究経費支出	191,057
寄付金収入	9,336	管理経費支出	115,771
補助金収入	365,134	借入金等利息支出	2,833
資産売却収入	1,051	借入金等返済支出	33,330
付随事業・収益事業収入	3,476	施設関係支出	0
受取利息・配当金収入	3,401	設備関係支出	6,417
雑収入	118,973	資産運用支出	7,701
借入金等収入	0	その他の支出	82,970
前受金収入	63,340		
その他の収入	194,571		
資金収入調整勘定	△ 172,774	資金支出調整勘定	△ 522,094
前年度繰越支払資金	242,804	翌年度繰越支払資金	198,725
収入の部合計	1,361,881	支出の部合計	1,361,881

(2) 事業活動収支計算書

(単位 千円)

2020(令和2)年度 事業活動収支計算書 (2020.4.1~2021.3.31)			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	523,911	人件費(含退職金)	1,041,812
手数料	8,656	教育研究経費	340,802
寄付金	9,336	管理経費	134,287
経常費等補助金	365,134	徴収不能額等	0
付随事業収入	3,476		
雑収入	315,722		
教育活動収入計	1,226,238	教育活動支出計	1,516,902
		教育活動収支差額	△ 290,664
受取利息・配当金	3,401	借入金等利息	2,833
その他の教育活動外収入	0	その他の教育活動外支出	0
教育活動外収入計	3,401	教育活動外支出計	2,833
		教育活動外収支差額	568
		経常収支差額	△ 290,095
資産売却差額	0	資産処分差額	132,635
その他の特別収入	2	その他の特別支出	0
特別収入計	2	特別支出計	132,635
		特別収支差額	△ 132,633
事業活動収入計	1,229,641	事業活動支出計	1,652,370
		基本金組入前当年度収支差額	△ 422,729
		基本金組入額合計	△ 0
		当年度収支差額	△ 422,729
		前年度繰越収支差額	△ 1,268,183
		基本金取崩額	110,574
		翌年度繰越収支差額	△ 1,580,337

(3) 貸借対照表

(単位 千円)

2020(令和2)年度 貸借対照表 (2021年3月31日)			
資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,469,231	4,852,195	△ 382,963
有形固定資産	3,074,246	3,369,898	△ 295,652
特定資産	1,394,280	1,481,591	△ 87,311
その他の固定資産	705	705	0
流動資産	610,713	584,588	26,124
資産の部合計	5,079,944	5,436,784	△ 356,839
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	418,138	854,735	△ 436,597
流動負債	748,690	246,202	502,487
負債の部合計	1,166,828	1,100,938	65,890
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	5,493,454	5,604,028	△ 110,574
第1号基本金	5,387,555	5,498,130	△ 110,574
第4号基本金	105,898	105,898	0
繰越収支差額	△ 1,580,337	△ 1,268,183	△ 312,154
翌年度繰越収支差額	△ 1,580,337	△ 1,268,183	△ 312,154
純資産の部合計	3,913,116	4,335,845	△ 422,729
負債及び純資産の部合計	5,079,944	5,436,784	△ 356,839

編集後記

昨夏はコロナ禍で発行できず、この時期の学院報は2年ぶりとなります。昨年の今頃は、1年後の今の状況／状況を想像できていませんでした。新型コロナウイルスへの罹患への不安とともに、格差のまん延、一人ひとりを大切にしない意識構造における差別の広がり等々に危惧を抱きます。来夏の発行時は、私たちの予測を超える笑顔と笑い声に満ちた世の中とプール学院になりますこと、祈るばかりです。「桜」

学院人事

2021年6月30日現在

■ 学校法人役員・評議員

〈就任〉-2021.4.1付-

理事長 磯 晴久
理事・評議員 安福 朗
評議員 巽 浩士

〈退任〉-2021.3.31付-

理事長・理事・評議員 吉田 幸一
理事・評議員 作野 理恵／小澤 淑郎
評議員 西尾 宣明／佐竹 純子

■ 教職員

〈新任〉-2021.4.1付-

校長・専任教諭 安福 朗
任期制専任教諭 岩本 佳奈／小堀 航／清水 結麻／森 健太／若井 淨

〈登用〉-2021.4.1付-

専任教諭 泉井 麻未

〈変更〉-2021.4.1付-

専任事務職員 和田 慎二郎

〈退職〉-2021.3.31付-

学院長 磯 晴久
学長・専任教員 作野 理恵
校長・専任教諭 吉田 幸一

* 短期大学

副学長・専任教員 西尾 宣明
専任教員 レベッカ アン アーサー／苅野 正美

特任教員 佐竹 純子／加藤 晴美
明神 規子／辻 富士子／織田 恵輔

井下 べに／谷口 浩二

常勤管理職嘱託職員

* 中学校・高等学校

専任教諭 田邊 一彦／東良 恵利／土橋 優子
任期制専任教諭 秋田 友加／小畑 千尋

管理職嘱託職員

上杉 敏行

〈退職〉-2021.5.31付-

* 法人本部

専任事務職員 阿部 良一

〈退職〉-2021.6.30付-

* 中学校・高等学校

専任事務職員 榊 知子

■ 訃報

●齋藤 誠 2020.11.28 逝去
1987.4.1~1992.3.31 専任事務職員

●片山 敬子 2021.1.20 逝去
1949.4.1~1984.3.31 中学校・高等学校専任教諭

●西村 逸郎 2021.1.21 逝去
2000.4.1~2005.3.31 法人事務局長

●パメラ アン クーパー
2021.2.12 逝去
1970.4.1~2009.3.31 大学・短期大学チャプレン

●吉野 昭子 2021.4.11 逝去
1950.4.1~1993.3.31 中学校・高等学校専任教諭

●藤井 英世 2021.5.26 逝去
1995.5.1~2000.3.31 中高事務部長
(1999.4.1~2000.3.31 法人事務局長を兼任)

ご在職中のお働きを覚え、つつしんで魂の平安をお祈り申し上げます。

ご寄贈感謝
(卒業寄付)

○高校2020年度卒業生 1,000,000円